

# 長柄小だより

考えて行動できる子  
～自立・創造  
しなやかな心～

令和6年度 第20号  
2023年2月5日  
葉山町立長柄小学校  
校長 長谷川 泰子  
TEL 046-875-6860

## 長柄の伝統 見事な運営委員会選挙



来年度の運営委員を投票で決める選挙が行われました。立候補したどの児童も大人顔負けの演説をし、聞いている3年生以上の子どもたちの態度も見事なもの。長柄小で代々受け継がれてきた立派な文化を感じます。選挙ですから当選する子、落選する子いるのは当然ですが、結果よりもやはりこの選挙までの取り組みが立派なのです。ここまで、自分の考えを述べられるように考えた児童、支えた保護者の方と教員の支援に感心しました。

また、投票をするという責任の重さもしっかりと感じていました。職員室での先生方の会話の中に「絶対に人気投票になってほしくない。」「きちんと話を聞いてほしい。」という言葉は何回か聞きました。人を選ぶという行為を、重みをもって支援している本校の教員にも手前味噌ですが素晴らしいと感じました。



## 大谷グローブ 到着

待ちに待った大谷グローブ、長柄小にもやってきました。各クラスをめぐる。全児童が触れるように、学年ごとにその年齢に合わせて、教職員が工夫して回します。



## 学校評価アンケートの結果について

昨年、秋にご協力いただきました学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。新しい教育目標のもと、15のつきたい力を中心にアンケートを実施しました。

どの項目も児童はあてはまる、ややあてはまるが多く高いポイントとなっています。児童は付けるべき力を意識しながら学校生活を送ろうとしていることが分かります。学校の情報の伝え方が不足しているため、おうちの方々には学校の実態がなかなか見えず答えられないという傾向がありました。学校の様子を直接見に来ていただけるような日常的な取り組みを考えていく必要を感じています。

後述にも述べますが、子どもたちに身に付けてほしいと願っている力は学校だけで伸ばすものではありません。ご家庭や地域と一緒に育んでいきたいと思っております。変化しだした長柄小学校全体の応援団として、保護者の皆様、地域の方々、今後ともご支援、ご協力お願いいたします。

長柄小学校 学校だより

よくあてはまる(5点)あてはまる(4点)どちらでもない(3点)あまりあてはまらない(2点)あてはまらない(1点)わからない(0点)とし平均値を出しています。

	保護者	児童	教職員
気持ちをコントロールする力がついていると思う	3.71	3.89	3.97
自分で考えて決める力がついていると思う	3.65	4.08	4.07
もっと成長しようとする力がついていると思う	3.72	4.27	4.07
主体的に学び続ける力がついていると思う	3.46	4.01	3.97
困難や挫折に負けない、粘り強い力がついていると思う	3.32	4.00	3.70
「どうして、なぜ」と考えたいことを見つける力がついていると思う	3.54	4.13	3.77
調べたことをつかって考える力がついていると思う	3.61	4.31	3.90
自分の考えを伝える力がついていると思う	3.52	3.92	3.67
新しいことにチャレンジする力がついていると思う	3.50	4.15	4.00
地域や学校、学級を良くするためになにをすべきか考える力がついていると思う	2.88	3.67	3.77
友だちと協力して取り組む力がついていると思う	3.93	4.43	4.40
まわりの人のことを考えて行動する力がついていると思う	3.96	4.17	3.90
自分と違うところがあってもわかり合おうとする力がついていると思う	3.88	4.17	4.27
思ったとおりにいかないときは、他の方法を考える力がついていると思う	3.35	4.01	4.07
正しい情報を見分ける力がついていると思う	2.79	3.86	3.57
学校はいじめの早期発見・早期解決に努力していると思う	1.74		4.27
いじめは絶対ダメという気持ちで過ごしている		4.55	
いじめの再発を防止するための取り組みに努めていると思う	1.46		4.07
まわりにいじめが起きていないか関心をもって過ごしている		3.98	
児童の小さな変化に気づいたとき、速やかに教職員間で情報共有できている			4.65
お子様が携帯電話やインターネット(SNSを含む)で迷惑し困った経験をしたことはない	3.43		
困ったときは相談できる大人がまわりにいる		3.98	
自分は、児童にとって、話をしたり相談をしたりしやすいように努めている			4.53
授業を通して、クラスの友だちとの間で話し合う活動をよく行っていると思う	2.94	4.40	4.47
幅広い学習資料・資源や情報機器を取り入れた授業の工夫に努めていると思う	2.99	4.43	4.77
自分は、「探究的な学習」を通して、新しい時代の学力を育てる授業改善に努めている			4.00
長柄小学校の児童は、一人ひとりのちがいを認められ、大事にされていると思う	3.12		3.80
教職員は、児童にとって、話をしたり相談をしたりしやすいように努めていると思う	3.35		4.37
楽しく生き生きとした学校生活を過ごしていると思う	4.18	4.20	4.37
児童が安心・安全に学校生活を送れるよう、環境整備や安全教育に取り組んでいると思う	3.47		3.83
安心・安全に学校生活を送れるよう考えている		4.41	
集団の中でマナーやルールを守ろうとする態度が育っていると思う	4.21		
学校は情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進していると思う	3.56		

どの項目も児童はあてはまる、ややあてはまるが多く高いポイントとなっています。児童は付けるべき力を意識しながら学校生活を送ろうとしていることが分かります。学校の情報の伝え方が不足しているため、おうちの方々には学校の実態がなかなか見えず答えられないという傾向がありました。学校の様子を直接見に来ていただけるような日常的な取り組みを考えていく必要を感じています。

●学校教育全般についてのご意見(ご記名いただいた意見を中心に掲載しています)

ご意見をいただいて学校運営を見直すチャンスとなっております。学校評価アンケートの時だけでなく、日常にご意見をいただければ幸いです。今後とも、お気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せください。

いじめに関しては具体的に学校がどうやって早期発見や再発防止を行っているのかが知りたいです。他には先生方にどれくらいの余裕があるのか(業務量や事務量による負担の大きさ)、放課後サポート教室は終了後のお迎えができない家庭には利用したくてもできない問題があり、どうにかならないもののでしょうか。

学校では定期的に子どもたちに生活アンケートを取ったり、子どもたちとの会話や日頃の観察を心がけたりして、いじめの早期発見や防止に努めています。教科交換を担任同士で行うことや、専科教員、教育相談コーディネーターなど複数の教員で児童を見守る体制も作っています。ご家庭でお子様について小さな変化でも感じられた場合は、すぐに学校へご相談ください。校内では連絡・相談体制を整えておりますので、速やかに対応いたします。保護者の皆様と一緒に子どもたちを見守る体制を引き続き強化してまいります。

放課後サポート教室のお迎えについては、小中合同運営協議会の中で協議いたします。16時半終了ですが、児童が徒歩で帰宅することを考えると、日が暮れて暗くなることを心配しております。現在は児童の安全面からお迎えをお願いしています。

先生方が「自分で考える力」を付けさせようとする対応が、子供には「不親切」「何も教えてくれない」と伝わってる気がします。

新しい学校目標はとても素晴らしく、先生方がご尽力されているのもとてもありがたいと思っておりますが、少し子ども達に任せすぎてるようにも感じます。自分で考えて行動する事は訓練が必要ですが、今の状況に子どもが戸惑っています。

ご意見の通り、自分で考えて行動していくには訓練が必要です。今までの指示を出しすぎていた指導から比べると違和感を感じる子どもたちもいると思います。子どもたちの困り感に寄り添い、対話を大切にしながら、引き続き「考えて行動できる子」を目指せるよう、研鑽を積んでまいります。

(アンケートにある身に着けたい力を)学校評価と結びつけるのは少し強引ではないか？学校教育だけで非認知能力などが高まっているわけではないと思う。

ご意見の通りです。子どもたちの力は家庭、地域、学校が連携して育んでいくものと思っています。学校という存在は、地域の中にあり、地域とともに運営していくところです。学校評価もまた、教員の運営の仕方だけでなく、一緒に子どもたちを支援していくまわりの大人全てにあてはまるものだと考えています。引き続き、子どもたちの成長のためにも歩んでいきたいと思っております。

タブレットの活用がどのようにされているのか知りたい。タブレットを持って帰ってくるのがほとんどないので、自宅学習では活用できていないが、9月の台風の臨時休校の際に自宅にあったら学習ができるのに、と思った。今後、ぜひ宿題等にも活用することを検討してほしい。防災頭巾をヘルメットにしてほしい。校舎は老朽化が進んでいるように見受けられるが、大地震の際に防災頭巾で本当に子供の命が守れるのか、きちんと検証してほしい。

授業中は端末を多く使っている状況です。そのため、使用の仕方については様々な課題も日々起きております。学校としてもタブレットの持ち帰りは徐々に試みているところです。しかし推奨したい反面、翌日充電されていない、忘れてくるなど、授業で使えない状況もあります。タブレットの管理まで含めて子どもたちができるように、宿題も視野に入れ、支援を引き続き考えていきます。

ヘルメット導入に関してはこのご意見をもとに検討いたします。

掃除の時間を無くして欲しいです。その時間をもっと有意義なものに使って欲しいと個人的には思います。今時雑巾掛けしてる家庭はごく少数だと思います。もちろん反対意見も多いでしょうがプロの清掃業者を雇ってその分各家庭負担にするとか、その方が子供に掃除させるより断然効率も良いのではないのでしょうか。

学校で掃除をする文化は日本特有のものと言われています。この日本の文化をリスペクトし、掃除を導入する国も出てきました。逆に、子どもに掃除をさせるのは強制、掃除をする人の仕事を奪うという国もあります。掃除については賛否両論あると思いますが、子どもの活動時間の確保と合わせて総合的に、柔軟に考えていきたいと思えます。

ご記名がありませんでしたが以下のようなご意見もいただいております。

このところ、子どもから聞く、クラスメートの口の悪さに驚かされることがあります。どうすればそれが改善されるのかは分かりませんが、酷い言葉を1年生にして使う子が多いようで胸が痛いです。

今長柄小学校では「自分で決められるようになろう」というテーマを掲げているとのことですが、各行事や授業内での班決めなどまで自分たちでスムーズに決めるというのは、難しいように感じます。特に色々なことを抱えている高学年にとっては、意見を押し付けるような児童の意見が通り、それを我慢している児童がいると言う現実を学校側は理解しているのか疑問です。

時事問題を扱って、多面的にものごとを考えるような学習がもっとあるとよい。例えば、「ごみを減らそう」という話のときに、ゴミを減らすことの大事さと同時に、ゴミがなかなか減らない理由や、ゴミを出す側の考え、法律はどうなっているか、など…

東京の友人から聞く小学校の様子と比べて、おおらかな校風で、子供の自主性を尊重してくれている学校と感じます。

以前からとても気になる事があります。知っている子が小学校入学と同時にゲームを買って貰いましたが、どんどん姿勢が悪くなっています。姿勢の悪さは様々な体の不調を招くと思えます。例えば、脳から背骨経由で全身をめぐる自律神経が乱れる可能性があるそうです。ゲームの危険性を児童や保護者に伝える機会はないのでしょうか？ゲーム依存症関係で有名な病院が久里浜にありますし、そういう機会を設けて学校(PTA)と地域と保護者で子供を守っていく場があると良いなと思えます。